

市長と語る「まちづくり座談会」意見交換(要旨)

開催日時 平成30年8月6日(月)

開催会場 中央公民館(対象地区 新町・富高・塩見地区) 参加者数 10名

1 子育て支援に関すること

会場	発言内容	回答者	回答内容
中央	日向ファミリーサポートセンター事業は、緊急の場合、窓口を広げる考えはないのか。また、登録制となっているが、どれくらい市民に周知できているのか。	健康福祉部長	ファミリーサポートセンター登録制の周知は重要なので、今後、取り組んでいく。安全面に責任をもって、子どもたちを預かるので、緊急の場合は、どういう対応ができるのか、運営している子ども遊センターと検討したい。
中央	発達障がい児相談員設置事業というのがあるが、何人くらいいるのか。	教育部長	支援相談員は現在22名。市内の小中学校に配置をして支援をしている。市では、一人ひとりにあった対応をしていきたいと思っている。

2 産業振興に関すること

会場	発言内容	回答者	回答内容
中央	竹島の工業港の話が出たが、竹島も全部陸繋ぎになっている。そこに岸壁を造って大きな船が入れるというような構想はないのか。	市長	港湾計画では、18号岸壁を造って、岸壁の陸側に工業団地を造成することになっているが、岸壁を整備するのは、竹島地域ではない。これはすぐに進む話ではなく、クリアしないといけない課題があるため、15年先を見据えた計画で取り組んでいる。
中央	山陰線(国道327号線)を木材の運搬トラックが頻繁に通る活気を感じるが、伐採後の補植が大切。広島県の土砂崩れなど、災害があったほとんどが危険地域か伐採後の山の崩壊。山陰方面は、ほとんど禿山というか、山が寂しい。100%補植がされていない気がする。現状の補植の割合と将来の取り組みを教えてください。	市長	日向圏域の補植は、78%程度でまだまだ足りない。伐りやすいところから搬出するので確かに禿山が目につく。コンテナ苗が普及すると活着率がよく、植林が楽になる。さらにドローンを利用した苗の運搬も研究されている。再生林の循環をしないと、木は無限にある訳ではない。土砂災害もだが、山が荒れると川が荒れ、川が荒れると海も荒れて魚も獲れなくなってしまう

3 その他

会場	発言内容	回答者	回答内容
中央	日豊海岸の中核であった建物(旧太平洋ドライブイン)が、廃墟的な建物になっている。国定公園だが、市の玄関口として、建物の整備計画等は考えていないのか。そうすれば、日豊海岸も自ずから生きる。ぜひ整備なり買収なり、いい施策を打って、日豊海岸の顔にしてほしい。	市長	あの土地は民間の方が購入され、宿泊施設か何かの整備に向け動いている。平岩タブ岬のワシントンニアパークの景色の良さに、道沿いで商売したい人もおられるので、公的な整備が必要なものは、相談に応じたいと考えている。また、美々津の民家を活用する動きもあり、この観光ルートがまた生きてくると思っている。

3 その他

会場	発言内容	回答者	回答内容
中央	最近は、富高、高見橋、塩見などで洪水も起きている。日向中の上のため池からの流水が(近くの)砂防ダムにオープンに流れてくる。結構な流量の土が流れてくるので見に行ったら、砂防ダムが満杯になっている。行政も現場を見てもらいたい。田植えの際は、ため池を開放していたが、一杯になっているので対応をお願いしたい。	市長	西日本豪雨災害では、砂防を越水して土砂災害が起きた。ため池に対する心配の声があり、西川内の砂防4か所を確認したところ、問題はなかった。
		農林水産部長	現在、市内に15のため池がある。うち6つが、防災重点ため池。国から西日本豪雨で、15か所全部の確認指示があり調査をしている。ハザードマップも、6のうち1つはできており、今年、残り5つの同マップを作成予定。
		建設部長	現地を調査し、確認をして区長さんと話をしたい。 ※後日、日向土木・建設課・区長で立会い(確認)
中央	一昨年(平成28年)、高見橋、広見、中原が台風で床上浸水等をして大変な被害を被った経緯がある。その時に高見橋を含めた一帯の区画整理をしないと、全面的な解決ができないのではないかということで、陳情書を出した経緯がある。その時の返事が、当時、2地区の区画整理を実行しているので、進捗状況によって考えたいという返事をいただいたが、その後どうい状況になっているのか教えていただきたい。	市長	H28、本市では24時間に500 ^{mm} 超の雨が降り続け、西日本豪雨は、120 ^{mm} /hが降った。河川が氾濫した倉敷の真備町は、本市の塩見川と富高川の地形と一緒にではないかと思った。担当との協議でも、第一義的には人の命を守らないといけないと話している。台風、豪雨災害はある程度予測できるので、避難して人命の影響をなくすことが一番。河川の河床が上昇、H28のように内水がはげず、真備町のような越水も想定が必要。区画整理後に、越水せず守れるのが一番だが、真備町を見ると不安が大きい。事業をやる上で、人命を大事にするため何をやるのかを意識して考えないといけないと思っている。最近、地震の少ない大阪での地震など、想定できないことが多く発生している。その中で、自然災害の発生を想定し、人命を救うことを第一義的に考え、さまざまな方向を検討していかなければいけない段階になっていると思う。

座談会のようす

